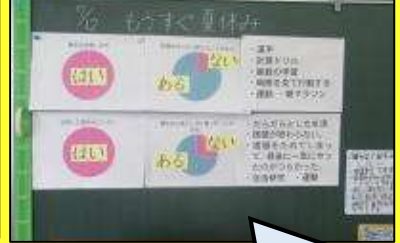
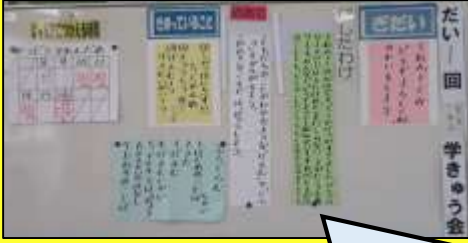


II 各部の取組

授業研究部

柱1 主体的な活動を通して思考を深め、自己肯定感を育む



計画委員会への事前指導を行い、活動計画の作成、役割分担を行うことができるようにした。

ホワイトボードを活用して「決まっていること」や「プログラム」を掲示して実践発言につなげた。

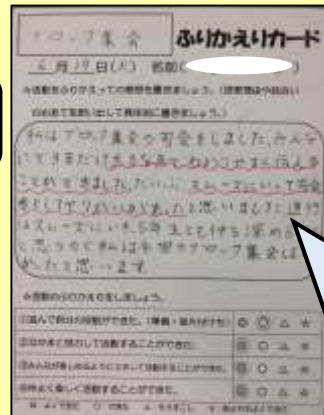
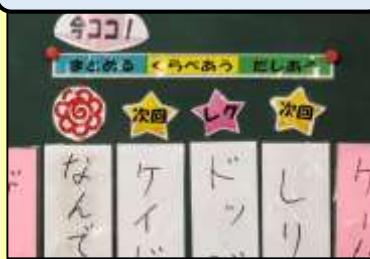
事前の実態調査で課題意識を持たせた。

柱2 自他のよさを認め合い、自己有用感を育む



〇〇さんと同じで私も△△に賛成します。△△なら、だめである「だれとでも」できると思ったからです。

取り上げられなかった意見は別の機会に採用できるようにした。



振り返りから、成果と課題を見付けられるようにした。

教科等の取組

国語



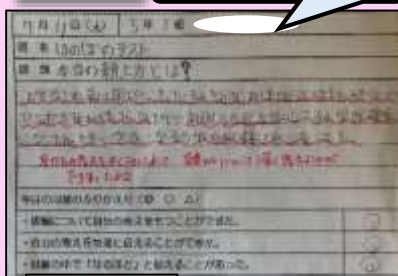
新聞作成

ふせんの活用



道徳

道徳ノート



心情円盤の活用

研究だより



社会3年「地図記号を紹介しよう」

自分が調べた地図記号を伝え合う



学び合い

お互いに自分でつくった旋律を聴き合う



学び合い

音楽4年「旋律づくり」

授業研究会後に保護者に学校の取組を伝え、家庭と学校とが一体となるようにしている。